

第八十五号様式（第十一条の三関係）

```
/* 建築工事届 */
#24000
/* 1. 建築主 */
#24010,;
"[種別を示す記号]",;
"[業種を示す記号]",;
"[資本の額又は出資の総額（百万円）]"
/* 2. 敷地の位置 */
#24020,;
"[地名地番]",;
"[都市計画を示す記号]"
/* 3. 工事予定期間 */
#24030,;
"[工事着手予定年月日]",;
"[工事完了予定年月日]",;
"[工事期間]"
/* 4. 工事種別 */
#24040,;
"[工事種別を示す記号]"
/* 5. 主要用途 */
#24050,;
"[主要用途]"
/* 6. 一の建築物ごとの内容 */
#24060,;
"[番号]",;
"[用途]",;
"[多用途であるか否かを示す記号]",;
"[工事部分の構造を示す記号]",;
"[工事部分の床面積の合計]",;
"[建築工事費予定額（万円）]",;
"[地上の階数]",;
"[地下の階数]"
/* 7. 新築工事の場合における敷地面積 */
#24070,;
"[敷地面積]"
/* 8. 住宅部分の概要 */
#24080,;
"[番号]",;
"[新設とその他の別を示す記号]",;
"[資金の別を示す記号]",;
"[建築工法の別を示す記号]",;
"[種類を示す記号]",;
"[持家の戸数]",;
"[持家の工事部分の床面積の合計]",;
"[貸家の戸数]",;
"[貸家の工事部分の床面積の合計]",;
"[給与住宅の戸数]",;
"[給与住宅の工事部分の床面積の合計]",;
"[分譲住宅の戸数]",;
"[分譲住宅の工事部分の床面積の合計]"
/* 9. 主要用途 */
#24090,;
"[主要用途]"
```

```

/* 10. 除却原因 */
#24100,;
"[除却原因を示す記号]"
/* 11. 構造種別 */
#24110,;
"[構造種別を示す記号]",;
"[具体的な構造の名称]"
/* 12. 建築物の数 */
#24120,;
"[建築物の数]"
/* 13. 住宅の戸数 */
#24130,;
"[住宅の戸数]"
/* 14. 住宅の利用関係 */
#24140,;
"[住宅の利用関係を示す記号]"
/* 15. 建築物の床面積の合計 */
#24150,;
"[建築物の床面積の合計]"
/* 16. 建築物の評価額 */
#24160,;
"[建築物の評価額(千円)]"

```

(注意)

1. 1 欄の種別を示す記号は、建築主が国のときは「06701」を、都道府県のときは「06702」を、市区町村のときは「06703」を、会社のときは「06704」を、会社でない団体のときは「06705」を、個人のときは「06706」を記録してください。
2. 1 欄の業種を示す記号は、建設業のときは「06801」を、製造業のときは「06802」を、卸売業のときは「06803」を、小売業のときは「06804」を、サービス業のときは「06805」を、金融・保険業のときは「06806」を、不動産業のときは「06807」を、運輸・通信業のときは「06808」を、電気・ガス業のときは「06809」を、その他のときは「06899」を記録してください。
3. 2 欄の都市計画を示す記号は、都市計画区域及び準都市計画区域外のときは「00800」を、準都市計画区域のときは「00804」を、市街化区域のときは「00801」を、市街化調整区域のときは「00802」を、区域区分非設定都市計画区域のときは「00803」を記録してください。
4. 3 欄の工事期間については、次の例のように、年及び月の数字(数字が一けたのときは数字の前に「0」を付けた数字)を記録してください。

(例) 工事期間が1年10カ月の場合

- ```

/* 3. 工事予定期間 */
#24030,;
"[工事着手予定年月日]",;
"[工事完了予定年月日]",;
"0110"

```
5. 4 欄の工事種別を示す記号は、新築のときは「01801」を、増築のときは「01802」を、改築のときは「01803」を、移転のときは「01804」を記録してください。
  6. 6 欄の多用途であるか否かを示す記号は、当該建築物に3種以上の用途があるときは「01851」を、2種以下の用途があるときは「01852」を記録し、工事部分の構造を示す記号は、木造のときは「01901」を、鉄骨鉄筋コンクリート造のときは「01902」を、鉄筋コンクリート造のときは「01903」を、鉄骨造のときは「01904」を、コンクリートブロック造のときは「01905」を、その他のときは「01999」を記録してください。

また、2以上の建築物について届出を行うときは、次のように、それぞれの建築物について必要な事項を記録してください。

```

/* 6. 一の建築物ごとの内容 */
#24060,;
"[番号]",;
"[用途]",;

```

"[多用途であるか否かを示す記号]";;  
 "[工事部分の構造を示す記号]";;  
 "[工事部分の床面積の合計]";;  
 "[建築工事費予定額(万円)]";;  
 "[地上の階数]";;  
 "[地下の階数]"  
 #24060;;  
 "[番号]";;  
 "[用途]";;  
 "[多用途であるか否かを示す記号]";;  
 "[工事部分の構造を示す記号]";;  
 "[工事部分の床面積の合計]";;  
 "[建築工事費予定額(万円)]";;  
 "[地上の階数]";;  
 "[地下の階数]"

7. 8欄の新設とその他の別を示す記号は、新設のうち、新築のときは「06901」を、増築のときは「06902」を、改築のときは「06903」を記録し、その他のうち、増築のときは「06904」を、改築のときは「06905」を記録してください。資金の別を示す記号は、民間資金のときは「07001」を、公営のときは「07002」を、住宅金融公庫のときは「07003」を、都市基盤整備公団のときは「07004」を、その他のときは「07099」を記録し、建築工法の別を示す記号は、在来工法のときは「07101」を、プレハブ工法のときは「07102」を、枠組壁工法のときは「07103」を記録してください。種類を示す記号は、専用住宅のうち、一戸建住宅のときは「07201」を、長屋建住宅のときは「07202」を、共同住宅のときは「07203」を記録し、併用住宅のうち、一戸建住宅のときは「07204」を、長屋建住宅のときは「07205」を、共同住宅のときは「07206」を記録し、その他の住宅のうち、一戸建住宅のときは「07207」を、長屋建住宅のときは「07208」を、共同住宅のときは「07209」を記録してください。

8. 2以上の建築物が住宅か又は住宅を含むときは、8欄は次のようにそれぞれの住宅部分について必要な事項を記録してください。

/\* 8. 住宅部分の概要 \*/

#24080;;  
 "[番号]";;  
 "[新設とその他の別を示す記号]";;  
 "[資金の別を示す記号]";;  
 "[建築工法の別を示す記号]";;  
 "[種類を示す記号]";;  
 "[持家の戸数]";;  
 "[持家の工事部分の床面積の合計]";;  
 "[貸家の戸数]";;  
 "[貸家の工事部分の床面積の合計]";;  
 "[給与住宅の戸数]";;  
 "[給与住宅の工事部分の床面積の合計]";;  
 "[分譲住宅の戸数]";;  
 "[分譲住宅の工事部分の床面積の合計]"  
 #24080;;  
 "[番号]";;  
 "[新設とその他の別を示す記号]";;  
 "[資金の別を示す記号]";;  
 "[建築工法の別を示す記号]";;  
 "[種類を示す記号]";;  
 "[持家の戸数]";;  
 "[持家の工事部分の床面積の合計]";;  
 "[貸家の戸数]";;  
 "[貸家の工事部分の床面積の合計]";;  
 "[給与住宅の戸数]";;  
 "[給与住宅の工事部分の床面積の合計]";;  
 "[分譲住宅の戸数]";;

"[分譲住宅の工事部分の床面積の合計]"

- 9 . 1 0 欄の除却原因を示す記号は、老朽して危険があるためのときは「07401」を、その他のときは「07499」を記録してください。
- 10 . 1 1 欄の構造種別を示す記号は、木造のときは「07501」を、その他のときは「07599」を記録してください。
- 11 . 1 4 欄の住宅の利用関係を示す記号は、持家のときは「07601」を、貸家のときは「07602」を、給与住宅のときは「07603」を記録してください。
- 12 . その他については、第四十号様式の（注意）1 . 、 3 . から まで、4 . 、 及び から まで並びに5 . 及び 並びに第七十号様式の（注意）1 . から まで及び3 . に準じて記録してください。

